

注3

大学番号：208

[令和2年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

京都外国語大学 外国語学部 ロシア語学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人京都外国語大学
令和2年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

外国語学部

＜ロシア語学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	25
4. 既設大学等の状況	27
5. 教員組織の状況	29
6. 附帯事項等に対する履行状況等	55
7. その他全般的事項	57

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人京都外国語大学

(2) 大学名

京都外国語大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒615-8558

京都府京都市右京区西院笠目町6番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリタ ヨシカツ) 森田 嘉一 (昭和51年9月)		
学長	(マツダ タケシ) 松田 武 (平成22年8月)		
学部長	(オノ タカヒロ) 小野 隆啓 (令和2年4月)		
学科長等	(ハヤシダ リエ) 林田 理恵 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
外国語学部 ロシア語学科 学士(文学)	文学関係	年 4	人 20	年次 人 —	人 80	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 20 (-) [-]	人 (-) [-]	1.15倍	- 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	211 [-]	- [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	205 [-]	- [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	66 [-]	- [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	23 [-]	- [-]			
入学定員超過率 B/A											1.15				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次									23 [-]	- [-]	
2年次											
3年次											
4年次											
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	23 [-] (-)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	23人	0人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<外国語学部 ロシア語学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	言語と平和Ⅰ	1前	2									兼1
	言語と平和Ⅱ	1後		2								兼2
	小計(2科目)	—	2	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
ゼミナール 基礎	基礎ゼミナール	1前	2				1					兼9
	小計(1科目)	—	2	0	0	0	1	0	0	0	0	兼9
専攻語科目	総合ロシア語Ⅰ	1前	6			3	1	1				兼1
	総合ロシア語Ⅱ	1後	6			3	1	1				兼1
	総合ロシア語Ⅲ	2前	6			3	1	1				兼1
	総合ロシア語Ⅳ	2後	6			3	1	1				兼1
	ロシア語通訳演習Ⅰ	3前	1			1						
	ロシア語通訳演習Ⅱ	3後	1			1						
	ロシア語通訳演習Ⅲ	4前	1					1				
	ロシア語通訳演習Ⅳ	4後	1					1				
	ライティング ロシア語Ⅰ	3前	1			1		1				
	ライティング ロシア語Ⅱ	4前	1			1		1				
	ロシア語翻訳演習Ⅰ	3後	1									兼1
	ロシア語翻訳演習Ⅱ	4後	1									兼1
	実践ロシア語演習Ⅰ	3後	1			1						
	実践ロシア語演習Ⅱ	4後	1			1						
小計(14科目)	—	34	0	0	3	1	1	0	0	0	0	兼2

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	言語と平和Ⅰ	1前	2									兼1
	言語と平和Ⅱ	1後		2								兼2
	小計(2科目)	—	2	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
ゼミナール 基礎	基礎ゼミナール	1前	2				1					兼9
	小計(1科目)	—	2	0	0	0	1	0	0	0	0	兼9
専攻語科目	総合ロシア語Ⅰ	1前	6				2	1	1			兼1
	総合ロシア語Ⅱ	1後	6				2	1	1			兼1
	総合ロシア語Ⅲ	2前	6			3	1	1				兼1
	総合ロシア語Ⅳ	2後	6			3	1	1				兼1
	ロシア語通訳演習Ⅰ	3前	1			1						
	ロシア語通訳演習Ⅱ	3後	1			1						
	ロシア語通訳演習Ⅲ	4前	1					1				
	ロシア語通訳演習Ⅳ	4後	1					1				
	ライティング ロシア語Ⅰ	3前	1			1		1				
	ライティング ロシア語Ⅱ	4前	1			1		1				
	ロシア語翻訳演習Ⅰ	3後	1									兼1
	ロシア語翻訳演習Ⅱ	4後	1									兼1
	実践ロシア語演習Ⅰ	3後	1			1						
	実践ロシア語演習Ⅱ	4後	1			1						
小計(14科目)	—	34	0	0	3	1	1	0	0	0	0	兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
第2外国語科目	英語Ⅰ-1	1前		1							兼5
	英語Ⅰ-2	1前		1							兼5
	英語Ⅱ-1	1後		1							兼5
	英語Ⅱ-2	1後		1							兼5
	英語Ⅲ-1	2前		1							兼5
	英語Ⅲ-2	2前		1							兼5
	英語Ⅳ-1	2後		1							兼5
	英語Ⅳ-2	2後		1							兼5
	基礎スペイン語	1前		2							兼2
	スペイン語Ⅰ-1	1後		1							兼2
	スペイン語Ⅰ-2	1後		1							兼1
	スペイン語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	スペイン語Ⅱ-2	2前		1							兼1
	スペイン語Ⅲ-1	2後		1							兼1
	スペイン語Ⅲ-2	2後		1							兼1
	基礎フランス語	1前		2							兼2
	フランス語Ⅰ-1	1後		1							兼1
	フランス語Ⅰ-2	1後		1							兼1
	フランス語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	フランス語Ⅱ-2	2前		1							兼1
	フランス語Ⅲ-1	2後		1							兼1
	フランス語Ⅲ-2	2後		1							兼1
	基礎ドイツ語	1前		2							兼2
	ドイツ語Ⅰ-1	1後		1							兼2
ドイツ語Ⅰ-2	1後		1							兼2	
ドイツ語Ⅱ-1	2前		1							兼2	
ドイツ語Ⅱ-2	2前		1							兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
第2外国語科目	英語Ⅰ-1	1前		1							兼5
	英語Ⅰ-2	1前		1							兼5
	英語Ⅱ-1	1後		1							兼5
	英語Ⅱ-2	1後		1							兼5
	英語Ⅲ-1	2前		1							兼5
	英語Ⅲ-2	2前		1							兼5
	英語Ⅳ-1	2後		1							兼5
	英語Ⅳ-2	2後		1							兼5
	基礎スペイン語	1前		2							兼2
	スペイン語Ⅰ-1	1後		1							兼2
	スペイン語Ⅰ-2	1後		1							兼1
	スペイン語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	スペイン語Ⅱ-2	2前		1							兼1
	スペイン語Ⅲ-1	2後		1							兼1
	スペイン語Ⅲ-2	2後		1							兼1
	基礎フランス語	1前		2							兼2
	フランス語Ⅰ-1	1後		1							兼1
	フランス語Ⅰ-2	1後		1							兼1
	フランス語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	フランス語Ⅱ-2	2前		1							兼1
	フランス語Ⅲ-1	2後		1							兼1
	フランス語Ⅲ-2	2後		1							兼1
	基礎ドイツ語	1前		2							兼2
	ドイツ語Ⅰ-1	1後		1							兼2
ドイツ語Ⅰ-2	1後		1							兼2	
ドイツ語Ⅱ-1	2前		1							兼2	
ドイツ語Ⅱ-2	2前		1							兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
第2外国語科目	ドイツ語Ⅲ-1	2後		1							兼2
	ドイツ語Ⅲ-2	2後		1							兼2
	基礎ポルトガル語	1前		2							兼2
	ポルトガル語Ⅰ-1	1後		1							兼1
	ポルトガル語Ⅰ-2	1後		1							兼1
	ポルトガル語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	ポルトガル語Ⅱ-2	2前		1							兼1
	ポルトガル語Ⅲ-1	2後		1							兼1
	ポルトガル語Ⅲ-2	2後		1							兼1
	基礎中国語	1前		2							兼2
	中国語Ⅰ-1	1後		1							兼1
	中国語Ⅰ-2	1後		1							兼2
	中国語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	中国語Ⅱ-2	2前		1							兼2
	中国語Ⅲ-1	2後		1							兼1
	中国語Ⅲ-2	2後		1							兼2
	基礎イタリア語	1前		2							兼2
	イタリア語Ⅰ-1	1後		1							兼1
	イタリア語Ⅰ-2	1後		1							兼1
	イタリア語Ⅱ-1	2前		1							兼1
イタリア語Ⅱ-2	2前		1							兼1	
イタリア語Ⅲ-1	2後		1							兼1	
イタリア語Ⅲ-2	2後		1							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
第2外国語科目	ドイツ語Ⅲ-1	2後		1							兼2
	ドイツ語Ⅲ-2	2後		1							兼2
	基礎ポルトガル語	1前		2							兼2
	ポルトガル語Ⅰ-1	1後		1							兼1
	ポルトガル語Ⅰ-2	1後		1							兼1
	ポルトガル語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	ポルトガル語Ⅱ-2	2前		1							兼1
	ポルトガル語Ⅲ-1	2後		1							兼1
	ポルトガル語Ⅲ-2	2後		1							兼1
	基礎中国語	1前		2							兼2
	中国語Ⅰ-1	1後		1							兼1
	中国語Ⅰ-2	1後		1							兼2
	中国語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	中国語Ⅱ-2	2前		1							兼2
	中国語Ⅲ-1	2後		1							兼1
	中国語Ⅲ-2	2後		1							兼2
	基礎イタリア語	1前		2							兼2
	イタリア語Ⅰ-1	1後		1							兼1
	イタリア語Ⅰ-2	1後		1							兼1
	イタリア語Ⅱ-1	2前		1							兼1
イタリア語Ⅱ-2	2前		1							兼1	
イタリア語Ⅲ-1	2後		1							兼1	
イタリア語Ⅲ-2	2後		1							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
第2外国語科目	基礎アラビア語	1前		2								兼2
	アラビア語Ⅰ-1	1後		1								兼1
	アラビア語Ⅰ-2	1後		1								兼1
	アラビア語Ⅱ-1	2前		1								兼1
	アラビア語Ⅱ-2	2前		1								兼1
	アラビア語Ⅲ-1	2後		1								兼1
	アラビア語Ⅲ-2	2後		1								兼1
	基礎オランダ語	1前		2								兼2
	オランダ語Ⅰ-1	1後		1								兼1
	オランダ語Ⅰ-2	1後		1								兼1
	オランダ語Ⅱ-1	2前		1								兼1
	オランダ語Ⅱ-2	2前		1								兼1
	オランダ語Ⅲ-1	2後		1								兼1
	オランダ語Ⅲ-2	2後		1								兼1
	基礎コア語	1前		2								兼2
	コア語Ⅰ-1	1後		1								兼1
	コア語Ⅰ-2	1後		1								兼1
	コア語Ⅱ-1	2前		1								兼1
	コア語Ⅱ-2	2前		1								兼1
	コア語Ⅲ-1	2後		1								兼1
コア語Ⅲ-2	2後		1								兼1	
小計(71科目)		—	0	80	0	0	0	0	0	0	0	兼42
外国語強化科目	TORFL検定対策初級レベルⅠ	1後		2		1						
	TORFL検定対策初級レベルⅡ	1後		2				1				
	TORFL検定対策初級レベルⅢ	1後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
第2外国語科目	基礎アラビア語	1前		2								兼2
	アラビア語Ⅰ-1	1後		1								兼1
	アラビア語Ⅰ-2	1後		1								兼1
	アラビア語Ⅱ-1	2前		1								兼1
	アラビア語Ⅱ-2	2前		1								兼1
	アラビア語Ⅲ-1	2後		1								兼1
	アラビア語Ⅲ-2	2後		1								兼1
	基礎オランダ語	1前		2								兼2
	オランダ語Ⅰ-1	1後		1								兼1
	オランダ語Ⅰ-2	1後		1								兼1
	オランダ語Ⅱ-1	2前		1								兼1
	オランダ語Ⅱ-2	2前		1								兼1
	オランダ語Ⅲ-1	2後		1								兼1
	オランダ語Ⅲ-2	2後		1								兼1
	基礎コア語	1前		2								兼2
	コア語Ⅰ-1	1後		1								兼1
	コア語Ⅰ-2	1後		1								兼1
	コア語Ⅱ-1	2前		1								兼1
	コア語Ⅱ-2	2前		1								兼1
	コア語Ⅲ-1	2後		1								兼1
コア語Ⅲ-2	2後		1								兼1	
小計(71科目)		—	0	80	0	0	0	0	0	0	0	兼42
外国語強化科目	TORFL検定対策初級レベルⅠ	1後		2		1						
	TORFL検定対策初級レベルⅡ	1後		2				1				
	TORFL検定対策初級レベルⅢ	1後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語強化科目	TORFL検定対策初級レベルⅣ	1後	2					1				
	TORFL検定対策基礎レベルⅠ	2前	2			1						
	TORFL検定対策基礎レベルⅡ	2前	2			1						
	TORFL検定対策基礎レベルⅢ	2後	2					1				
	TORFL検定対策基礎レベルⅣ	2後	2					1				
	TORFL検定対策第1レベルⅠ	3前	2			1						
	TORFL検定対策第1レベルⅡ	3前	2			1						
	TORFL検定対策第1レベルⅢ	3後	2								兼1	
	TORFL検定対策第1レベルⅣ	3後	2								兼1	
	小計(12科目)	—	—	20	4	0	1	0	1	0	0	兼1
第3外国語科目	ラテン語Ⅰ	2前		1								兼1
	ラテン語Ⅱ	2後		1								兼1
	ギリシア語Ⅰ	2前		1								兼1
	ギリシア語Ⅱ	2後		1								兼1
	インドネシア語Ⅰ	2前		1								兼1
	インドネシア語Ⅱ	2後		1								兼1
	トルコ語Ⅰ	2前		1								兼1
	トルコ語Ⅱ	2後		1								兼1
	インド語Ⅰ	2前		1								兼1
	インド語Ⅱ	2後		1								兼1
	タイ語Ⅰ	2前		1								兼1
	タイ語Ⅱ	2後		1								兼1
	ベトナム語Ⅰ	2前		1								兼1
	ベトナム語Ⅱ	2後		1								兼1
	スワヒリ語Ⅰ	2前		1								兼1
	スワヒリ語Ⅱ	2後		1								兼1
小計(16科目)	—	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語強化科目	TORFL検定対策初級レベルⅣ	1後	2						1			
	TORFL検定対策基礎レベルⅠ	2前	2			1						
	TORFL検定対策基礎レベルⅡ	2前	2			1						
	TORFL検定対策基礎レベルⅢ	2後	2						1			
	TORFL検定対策基礎レベルⅣ	2後	2						1			
	TORFL検定対策第1レベルⅠ	3前	2			1						
	TORFL検定対策第1レベルⅡ	3前	2			1						
	TORFL検定対策第1レベルⅢ	3後	2									兼1
	TORFL検定対策第1レベルⅣ	3後	2									兼1
	小計(12科目)	—	—	20	4	0	1	0	1	0	0	兼1
第3外国語科目	ラテン語Ⅰ	2前		1								兼1
	ラテン語Ⅱ	2後		1								兼1
	ギリシア語Ⅰ	2前		1								兼1
	ギリシア語Ⅱ	2後		1								兼1
	インドネシア語Ⅰ	2前		1								兼1
	インドネシア語Ⅱ	2後		1								兼1
	トルコ語Ⅰ	2前		1								兼1
	トルコ語Ⅱ	2後		1								兼1
	インド語Ⅰ	2前		1								兼1
	インド語Ⅱ	2後		1								兼1
	タイ語Ⅰ	2前		1								兼1
	タイ語Ⅱ	2後		1								兼1
	ベトナム語Ⅰ	2前		1								兼1
	ベトナム語Ⅱ	2後		1								兼1
	スワヒリ語Ⅰ	2前		1								兼1
	スワヒリ語Ⅱ	2後		1								兼1
小計(16科目)	—	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル・スタディ科目群	ロシア語圏の言語と文化Ⅰ	1前	2			1						
	ロシア語圏の言語と文化Ⅱ	2前	2			1						
	ロシア語圏の社会	2前		2		1						
	ユーラシアの歴史と文化Ⅰ	2前		2		1						
	ユーラシアの歴史と文化Ⅱ	2後		2		1						
	日露の交流	2後		2		1						
	ロシア語圏の芸術Ⅰ	3前		2							兼1	
	ロシア語圏の芸術Ⅱ	3後		2							兼1	
	ロシア語圏の歴史Ⅰ	3前		2		1						
	ロシア語圏の歴史Ⅱ	3後		2		1						
	ロシア語圏の文学Ⅰ	3前		2							兼1	
	ロシア語圏の文学Ⅱ	3後		2							兼1	
	ロシア言語社会研究ゼミⅠ	3前		2		1						
	ロシア言語社会研究ゼミⅡ	3後		2		1						
	ロシア言語社会研究ゼミⅢ	4前		2		1						
	ロシア言語社会研究ゼミⅣ	4後		2		1						
小計(16科目)		—	4	28	0	1	1	0	0	0	兼1	
エリアB 欧米地域	植民地論	2前		2								兼1
	現代ヨーロッパ地域事情Ⅰ	2前		2								兼1
	欧米の歴史・文化	2前		2								兼1
	ヨーロッパの美術	2前		2								兼1
	ヨーロッパと国際社会	2前		2								兼1
	ロシア東欧の社会	2前		2		1						
	ヨーロッパの哲学Ⅰ	2前		2								兼1
	現代ラテンアメリカ地域事情	2前		2								兼1
	現代北米地域事情	2前		2								兼1
	現代ヨーロッパ地域事情Ⅱ	2後		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル・スタディ科目群	ロシア語圏の言語と文化Ⅰ	1前	2			1						
	ロシア語圏の言語と文化Ⅱ	2前	2			1						
	ロシア語圏の社会	2前		2		1						
	ユーラシアの歴史と文化Ⅰ	2前		2		1						
	ユーラシアの歴史と文化Ⅱ	2後		2		1						
	日露の交流	2後		2		1						
	ロシア語圏の芸術Ⅰ	3前		2								兼1
	ロシア語圏の芸術Ⅱ	3後		2								兼1
	ロシア語圏の歴史Ⅰ	3前		2		1						
	ロシア語圏の歴史Ⅱ	3後		2		1						
	ロシア語圏の文学Ⅰ	3前		2								兼1
	ロシア語圏の文学Ⅱ	3後		2								兼1
	ロシア言語社会研究ゼミⅠ	3前		2		1						
	ロシア言語社会研究ゼミⅡ	3後		2		1						
	ロシア言語社会研究ゼミⅢ	4前		2		1						
	ロシア言語社会研究ゼミⅣ	4後		2		1						
小計(16科目)		—	4	28	0	1	1	0	0	0	兼1	
エリアB 欧米地域	植民地論	2前		2								兼1
	現代ヨーロッパ地域事情Ⅰ	2前		2								兼1
	欧米の歴史・文化	2前		2								兼1
	ヨーロッパの美術	2前		2								兼1
	ヨーロッパと国際社会	2前		2								兼1
	ロシア東欧の社会	2前		2		1						
	ヨーロッパの哲学Ⅰ	2前		2								兼1
	現代ラテンアメリカ地域事情	2前		2								兼1
	現代北米地域事情	2前		2								兼1
	現代ヨーロッパ地域事情Ⅱ	2後		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
グローバル・スタディ科目群 エリアB	欧米地域	キリスト教世界の思想と社会	2後	2								兼1	
		ヨーロッパの歴史と思想	2後	2								兼1	
		ヨーロッパの哲学Ⅱ	2後	2								兼1	
		イスラーム世界とヨーロッパ	2前	2								兼1	
	アジア・中東・アフリカ地域		中東の歴史と文化Ⅰ	2前	2								兼1
			日本史の見方	2前	2								兼1
			アジアの歴史と文化Ⅰ	2前	2								兼1
			日本の歴史と文化Ⅰ	2前	2								兼1
			日欧文化比較論	2前	2								兼1
			現代アジア地域事情	2前	2								兼1
			現代中東・アフリカ地域事情	2前	2								兼1
			現代日本社会と伝統文化Ⅰ	2前	2								兼1
			南アジアの歴史と文化	2前	2								兼1
			アフリカ文化事情	2前	2								兼1
			イスラーム世界の思想と社会	2後	2								兼1
			中東の歴史と文化Ⅱ	2後	2								兼1
			アジアの歴史と文化Ⅱ	2後	2								兼1
			日本の歴史と文化Ⅱ	2後	2								兼1
	国際文化		現代日本社会と伝統文化Ⅱ	2後	2								兼1
			環太平洋の文明史	2後	2								兼1
		世界の諸宗教	2後	2								兼1	
		世界史A-政治・経済を中心に	1後	2								兼1	
		世界史B-文化に注目して	1後	2								兼1	
		世界史C-地域交流に着目して	1後	2								兼1	
		東西文化の交流	2前	2								兼1	
		日欧の交流Ⅰ	2前	2								兼1	
	越境文化論	2前	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
グローバル・スタディ科目群 エリアB	欧米地域	キリスト教世界の思想と社会	2後	2								兼1	
		ヨーロッパの歴史と思想	2後	2								兼1	
		ヨーロッパの哲学Ⅱ	2後	2								兼1	
		イスラーム世界とヨーロッパ	2前	2								兼1	
	アジア・中東・アフリカ地域		中東の歴史と文化Ⅰ	2前	2								兼1
			日本史の見方	2前	2								兼1
			アジアの歴史と文化Ⅰ	2前	2								兼1
			日本の歴史と文化Ⅰ	2前	2								兼1
			日欧文化比較論	2前	2								兼1
			現代アジア地域事情	2前	2								兼1
			現代中東・アフリカ地域事情	2前	2								兼1
			現代日本社会と伝統文化Ⅰ	2前	2								兼1
			南アジアの歴史と文化	2前	2								兼1
			アフリカ文化事情	2前	2								兼1
			イスラーム世界の思想と社会	2後	2								兼1
			中東の歴史と文化Ⅱ	2後	2								兼1
			アジアの歴史と文化Ⅱ	2後	2								兼1
			日本の歴史と文化Ⅱ	2後	2								兼1
	国際文化		現代日本社会と伝統文化Ⅱ	2後	2								兼1
			環太平洋の文明史	2後	2								兼1
		世界の諸宗教	2後	2								兼1	
		世界史A-政治・経済を中心に	1後	2								兼1	
		世界史B-文化に注目して	1後	2								兼1	
		世界史C-地域交流に着目して	1後	2								兼1	
		東西文化の交流	2前	2								兼1	
		日欧の交流Ⅰ	2前	2								兼1	
	越境文化論	2前	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際文化	グローバル化とジェンダー	2前		2								兼1
	異文化理解のための考古学	1後		2								兼1
	異文化理解のための人類学	1後		2								兼1
	比較美術史	2前		2								兼1
	グローバル化する世界と間文化主義	2前		2								兼1
	日欧の交流 II	2後		2								兼1
	比較文化論	2後		2								兼1
グローバル・スタディ科目群 エリアB 国際関係	国際政治学の基礎 I	2前		2								兼1
	国際安全保障論	2前		2								兼1
	国際平和協力論	2前		2								兼1
	日本外交課題論	2前		2								兼1
	外交戦略論 I	2前		2								兼1
	平和学概論	2前		2								兼1
	国際関係論入門	2前		2								兼1
	国際関係史	2前		2								兼1
	東アジア政治外交史	2前		2								兼1
	国際社会論	2後		2								兼2
	国際法	2前		2								兼1
	国際開発論	2前		2								兼1
	国際経済学の基礎	2前		2								兼1
	戦争論 I	2前		2								兼1
	国際政治学の基礎 II	2後		2								兼1
	国際機構論	2後		2								兼1
	外交戦略論 II	2後		2								兼1
	平和構築論	2後		2								兼1
	国際NGO論	2後		2								兼1
	途上地域の諸問題	2後		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際文化	グローバル化とジェンダー	2前		2								兼1
	異文化理解のための考古学	1後		2								兼1
	異文化理解のための人類学	1後		2								兼1
	比較美術史	2前		2								兼1
	グローバル化する世界と間文化主義	2前		2								兼1
	日欧の交流 II	2後		2								兼1
	比較文化論	2後		2								兼1
グローバル・スタディ科目群 エリアB 国際関係	国際政治学の基礎 I	2前		2								兼1
	国際安全保障論	2前		2								兼1
	国際平和協力論	2前		2								兼1
	日本外交課題論	2前		2								兼1
	外交戦略論 I	2前		2								兼1
	平和学概論	2前		2								兼1
	国際関係論入門	2前		2								兼1
	国際関係史	2前		2								兼1
	東アジア政治外交史	2前		2								兼1
	国際社会論	2後		2								兼2
	国際法	2前		2								兼1
	国際開発論	2前		2								兼1
	国際経済学の基礎	2前		2								兼1
	戦争論 I	2前		2								兼1
	国際政治学の基礎 II	2後		2								兼1
	国際機構論	2後		2								兼1
	外交戦略論 II	2後		2								兼1
	平和構築論	2後		2								兼1
	国際NGO論	2後		2								兼1
	途上地域の諸問題	2後		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル・スタディ科目群 エリアB 言語理論と応用	戦争論Ⅱ	2後		2								兼1
	国際関係 模擬国連会議(PBL)	2前		2								兼1
	言語の仕組み	1後		2								兼1
	言語の成り立ち	2前		2								兼1
	意味論・語用論入門	2後		2								兼1
	音声学入門	2前		2								兼1
	世界の中の日本語Ⅰ	1後		2								兼1
	世界の中の日本語Ⅱ	1後		2								兼1
	日英表現比較(PBL)	2前		2								兼1
	日英対照言語学	2後		2								兼1
	日中対照言語学	2前		2								兼1
	2言語同時学習(ES)Ⅰ	2前		2								兼2
	2言語同時学習(ES)Ⅱ	2後		2								兼2
	2言語同時学習(EF)Ⅰ	2前		2								兼2
	2言語同時学習(EF)Ⅱ	2後		2								兼2
	2言語同時学習(EG)Ⅰ	2前		2								兼2
	2言語同時学習(EG)Ⅱ	2後		2								兼2
	2言語同時学習(EP)Ⅰ	2前		2								兼2
	2言語同時学習(EP)Ⅱ	2後		2								兼2
	2言語同時学習(EC)Ⅰ	2前		2								兼2
2言語同時学習(EC)Ⅱ	2後		2								兼2	
2言語同時学習(EI)Ⅰ	2前		2								兼2	
2言語同時学習(EI)Ⅱ	2後		2								兼2	
ロマンス語同時学習(FP)Ⅰ	2前		2								兼2	
ロマンス語同時学習(FP)Ⅱ	2後		2								兼2	
ロマンス諸語比較文法Ⅰ	2前		2								兼1	
ロマンス諸語比較文法Ⅱ	2後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル・スタディ科目群 エリアB 言語理論と応用	戦争論Ⅱ	2後		2								兼1
	国際関係 模擬国連会議(PBL)	2前		2								兼1
	言語の仕組み	1後		2								兼1
	言語の成り立ち	2前		2								兼1
	意味論・語用論入門	2後		2								兼1
	音声学入門	2前		2								兼1
	世界の中の日本語Ⅰ	1後		2								兼1
	世界の中の日本語Ⅱ	1後		2								兼1
	日英表現比較(PBL)	2前		2								兼1
	日英対照言語学	2後		2								兼1
	日中対照言語学	2前		2								兼1
	2言語同時学習(ES)Ⅰ	2前		2								兼2
	2言語同時学習(ES)Ⅱ	2後		2								兼2
	2言語同時学習(EF)Ⅰ	2前		2								兼2
	2言語同時学習(EF)Ⅱ	2後		2								兼2
	2言語同時学習(EG)Ⅰ	2前		2								兼2
	2言語同時学習(EG)Ⅱ	2後		2								兼2
	2言語同時学習(EP)Ⅰ	2前		2								兼2
	2言語同時学習(EP)Ⅱ	2後		2								兼2
	2言語同時学習(EC)Ⅰ	2前		2								兼2
2言語同時学習(EC)Ⅱ	2後		2								兼2	
2言語同時学習(EI)Ⅰ	2前		2								兼2	
2言語同時学習(EI)Ⅱ	2後		2								兼2	
ロマンス語同時学習(FP)Ⅰ	2前		2								兼2	
ロマンス語同時学習(FP)Ⅱ	2後		2								兼2	
ロマンス諸語比較文法Ⅰ	2前		2								兼1	
ロマンス諸語比較文法Ⅱ	2後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル・スタディ科目群 エリアB	認知意味論	2前		2								兼1
	言語理論と応用											
	認知構文論	2前		2								兼1
	生成文法	2前		2								兼1
	バイリンガルの言語形成	2後		2								兼1
	グローバル研究ゼミⅠ	3前		2								兼4
	グローバル研究ゼミⅡ	3後		2								兼4
	グローバル研究ゼミⅢ	4前		2								兼4
	グローバル研究ゼミⅣ	4後		2								兼4
	国際教養ゼミⅠ	3前		2								兼2
	国際教養ゼミⅡ	3後		2								兼2
	国際教養ゼミⅢ	4前		2								兼2
	国際教養ゼミⅣ	4後		2								兼2
	小計(103科目)	—	0	206	0	0	0	0	0	0	0	兼61
キャリア・スタディ科目群 生活・環境	生活と経済	2前		2								兼1
	生活と法律	2後		2								兼1
	生活と環境	2前		2								兼1
	宇宙の科学	2前		2								兼1
	生活と健康	2前		2								兼1
	生活と文化	2後		2								兼1
	生活と芸術	2後		2								兼1
	ライフスタイル論	2前		2								兼1
	現代と社会環境	2後		2								兼1
	グローバル環境論	2後		2								兼1
	民俗学から見た衣食住	2前		2								兼1
	考古学から復元する生活文化史	2後		2								兼1
	Environmental Issues	2前		2								兼1
	Food and Human Culture and Environment	2前		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル・スタディ科目群 エリアB	認知意味論	2前		2								兼1
	言語理論と応用											
	認知構文論	2前		2								兼1
	生成文法	2前		2								兼1
	バイリンガルの言語形成	2後		2								兼1
	グローバル研究ゼミⅠ	3前		2								兼4
	グローバル研究ゼミⅡ	3後		2								兼4
	グローバル研究ゼミⅢ	4前		2								兼4
	グローバル研究ゼミⅣ	4後		2								兼4
	国際教養ゼミⅠ	3前		2								兼2
	国際教養ゼミⅡ	3後		2								兼2
	国際教養ゼミⅢ	4前		2								兼2
	国際教養ゼミⅣ	4後		2								兼2
	小計(103科目)	—	0	206	0	0	0	0	0	0	0	兼59
キャリア・スタディ科目群 生活・環境	生活と経済	2前		2								兼1
	生活と法律	2後		2								兼1
	生活と環境	2前		2								兼1
	宇宙の科学	2前		2								兼1
	生活と健康	2前		2								兼1
	生活と文化	2後		2								兼1
	生活と芸術	2後		2								兼1
	ライフスタイル論	2前		2								兼1
	現代と社会環境	2後		2								兼1
	グローバル環境論	2後		2								兼1
	民俗学から見た衣食住	2前		2								兼1
	考古学から復元する生活文化史	2後		2								兼1
	Environmental Issues	2前		2								兼1
	Food and Human Culture and Environment	2前		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
生活・環境	Eat to Live & Live to Eat - Food around the world	2前		2								兼1
	Research of Japanese Culture (PBL)	2前		2								兼1
	Sustainable Development	2後		2								兼1
	地域社会と環境 (PBL)	2後		2								兼1
	生活・環境研究ゼミⅠ	3前		2								兼2
	生活・環境研究ゼミⅡ	3後		2								兼2
	生活・環境研究ゼミⅢ	4前		2								兼2
生活・環境研究ゼミⅣ	4後		2								兼2	
キャリア・スタディ科目群	同和教育と人権	1後		2								兼1
	多文化理解と人権	2前		2								兼1
	生涯学習概論	1前・1後		2								兼1
	教育の課題	1後		2								兼1
	コミュニケーションの心理	2前		2								兼1
	コーチングの理論	2前		2								兼1
	日本語教育文法Ⅰ	2前		2								兼1
	日本語教授法	2前		2								兼1
	教育社会学	2後		2								兼1
	青少年の行動と心理	2前		2								兼1
	臨床心理学	2後		2								兼1
	コーチングの実践	2後		2								兼1
	現代生活とスポーツ	2前		2								兼1
	日本語教育文法Ⅱ	2後		2								兼1
	日本語教育評価法	2後		2								兼1
	外国語習得論	2前		2								兼1
	英語教師論	2前		2								兼1
小学校外国語活動指導	2前		2								兼1	
Language Teaching & Learning	2後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
生活・環境	Eat to Live & Live to Eat - Food around the world	2前		2								兼1
	Research of Japanese Culture (PBL)	2前		2								兼1
	Sustainable Development	2後		2								兼1
	地域社会と環境 (PBL)	2後		2								兼1
	生活・環境研究ゼミⅠ	3前		2								兼2
	生活・環境研究ゼミⅡ	3後		2								兼2
	生活・環境研究ゼミⅢ	4前		2								兼2
生活・環境研究ゼミⅣ	4後		2								兼2	
キャリア・スタディ科目群	同和教育と人権	1後		2								兼1
	多文化理解と人権	2前		2								兼1
	生涯学習概論	1前・1後		2								兼1
	教育の課題	1後		2								兼1
	コミュニケーションの心理	2前		2								兼1
	コーチングの理論	2前		2								兼1
	日本語教育文法Ⅰ	2前		2								兼1
	日本語教授法	2前		2								兼1
	教育社会学	2後		2								兼1
	青少年の行動と心理	2前		2								兼1
	臨床心理学	2後		2								兼1
	コーチングの実践	2後		2								兼1
	現代生活とスポーツ	2前		2								兼1
	日本語教育文法Ⅱ	2後		2								兼1
	日本語教育評価法	2後		2								兼1
	外国語習得論	2前		2								兼1
	英語教師論	2前		2								兼1
小学校外国語活動指導	2前		2								兼1	
Language Teaching & Learning	2後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育	Nonverbal Communication in Language Teaching and Learning	2後		2								兼1
	教育研究ゼミ I	3前		2								兼2
	教育研究ゼミ II	3後		2								兼2
	教育研究ゼミ III	4前		2								兼2
	教育研究ゼミ IV	4後		2								兼2
キャリア・スタディ科目群	サービス戦略論	2前		2								兼1
	キャリア形成 I	2前		2								兼1
	キャリア形成 II	2後		2								兼1
	サービス・マーケティング	2前		2								兼1
	イベント・プランニング	2前		2								兼1
	地理概論	2前		2								兼1
	ホスピタリティ論	2前		2								兼1
	サービス・コミュニケーション	2後		2								兼1
	文化遺産と観光	2前		2								兼1
	消費者行動	2後		2								兼1
	サービス・ホスピタリティ	2前		2								兼2
	京都文化論1	2前		2								兼2
	京都文化論2	2後		2								兼2
	旅行実務概論	2後		2								兼1
	ホテルビジネス概論	2前		2								兼1
	ホテルビジネス演習	2後		2								兼1
	航空ビジネス概論	2後		2								兼1
	航空ビジネス演習	2前		2								兼1
	ブライダルビジネス概論	2前		2								兼1
	ブライダルビジネス演習	2後		2								兼1
Cross Cultural Studies	2前		2								兼1	
ツアープランニング(PBL)	2前		2								兼1	
京都モノ・コト探究 I (PBL)	2前		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育	Nonverbal Communication in Language Teaching and Learning	2後		2								兼1
	教育研究ゼミ I	3前		2								兼2
	教育研究ゼミ II	3後		2								兼2
	教育研究ゼミ III	4前		2								兼2
	教育研究ゼミ IV	4後		2								兼2
キャリア・スタディ科目群	サービス戦略論	2前		2								兼1
	キャリア形成 I	2前		2								兼1
	キャリア形成 II	2後		2								兼1
	サービス・マーケティング	2前		2								兼1
	イベント・プランニング	2前		2								兼1
	地理概論	2前		2								兼1
	ホスピタリティ論	2前		2								兼1
	サービス・コミュニケーション	2後		2								兼1
	文化遺産と観光	2前		2								兼1
	消費者行動	2後		2								兼1
	サービス・ホスピタリティ	2前		2								兼2
	京都文化論1	2前		2								兼2
	京都文化論2	2後		2								兼2
	旅行実務概論	2後		2								兼1
	ホテルビジネス概論	2前		2								兼1
	ホテルビジネス演習	2後		2								兼1
	航空ビジネス概論	2後		2								兼1
	航空ビジネス演習	2前		2								兼1
	ブライダルビジネス概論	2前		2								兼1
	ブライダルビジネス演習	2後		2								兼1
Cross Cultural Studies	2前		2								兼1	
ツアープランニング(PBL)	2前		2								兼1	
京都モノ・コト探究 I (PBL)	2前		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
キャリア・スタディ科目群	京都モノ・コト探究Ⅱ(PBL)	2後		2								兼1	
	サービス・ホスピタリティ研究ゼミⅠ	3前		2								兼2	
	サービス・ホスピタリティ研究ゼミⅡ	3後		2								兼2	
	サービス・ホスピタリティ研究ゼミⅢ	4前		2								兼2	
	サービス・ホスピタリティ研究ゼミⅣ	4後		2								兼2	
	マスメディア基礎論	2前		2								兼1	
	メディアリテラシー論	2後		2								兼1	
	情報社会論	2前		2								兼1	
	マルチメディアプレゼンテーション演習	2前		2								兼1	
	ビジネスコンピューティング	2前		2								兼1	
	情報と論理	2後		2								兼1	
	メディアの現在Ⅰ	2前		2								兼1	
	メディアの現在Ⅱ	2後		2								兼1	
	ネットジャーナリズム論	2前		2								兼1	
	科学技術の歴史	2前		2								兼1	
	情報・メディア	ポップカルチャー論	2後		2								兼1
	Webデザイン演習	2後		2									兼1
	CG演習	2前		2									兼1
	Webプログラミング演習	2後		2									兼1
	Interactive Webpublishing(PBL)	2後		2									兼1
映像メディアの制作(PBL)	2前		2									兼1	
マルチメディアの制作(PBL)	2後		2									兼1	
情報・メディア研究ゼミⅠ	3前		2									兼2	
情報・メディア研究ゼミⅡ	3後		2									兼2	
情報・メディア研究ゼミⅢ	4前		2									兼2	
情報・メディア研究ゼミⅣ	4後		2									兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
キャリア・スタディ科目群	京都モノ・コト探究Ⅱ(PBL)	2後		2								兼1	
	サービス・ホスピタリティ研究ゼミⅠ	3前		2								兼1	
	サービス・ホスピタリティ研究ゼミⅡ	3後		2								兼1	
	サービス・ホスピタリティ研究ゼミⅢ	4前		2								兼2	
	サービス・ホスピタリティ研究ゼミⅣ	4後		2								兼2	
	マスメディア基礎論	2前		2								兼1	
	メディアリテラシー論	2後		2								兼1	
	情報社会論	2前		2								兼1	
	マルチメディアプレゼンテーション演習	2前		2								兼1	
	ビジネスコンピューティング	2前		2								兼1	
	情報と論理	2後		2								兼1	
	メディアの現在Ⅰ	2前		2								兼1	
	メディアの現在Ⅱ	2後		2								兼1	
	ネットジャーナリズム論	2前		2								兼1	
	科学技術の歴史	2前		2								兼1	
	情報・メディア	ポップカルチャー論	2後		2								兼1
	Webデザイン演習	2後		2									兼1
	CG演習	2前		2									兼1
	Webプログラミング演習	2後		2									兼1
	Interactive Webpublishing(PBL)	2後		2									兼1
映像メディアの制作(PBL)	2前		2									兼1	
マルチメディアの制作(PBL)	2後		2									兼1	
情報・メディア研究ゼミⅠ	3前		2									兼2	
情報・メディア研究ゼミⅡ	3後		2									兼2	
情報・メディア研究ゼミⅢ	4前		2									兼2	
情報・メディア研究ゼミⅣ	4後		2									兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キャリア・スタディ科目群	リーダーシップ概論	2前		2								兼1
	キャリアベーシック	1後		2								兼1
	法学の基礎	2前		2								兼1
	貿易論	2後		2								兼1
	経営管理論	2前		2								兼1
	組織論	2後		2								兼1
	国際ビジネス	2後		2								兼1
	簿記会計の仕組み	2前		2								兼1
	企業文化論	2後		2								兼1
	グローバルリーダーシップ	2後		2								兼1
	法と社会	2後		2								兼1
	日本経済と経済政策	2前		2								兼1
	生産管理論	2前		2								兼1
	マーケティング戦略論	2前		2								兼1
	知財マネジメント	2後		2								兼1
	アカウンティング	2前		2								兼1
	CSRマネジメント	2前		2								兼1
	起業と起業文化	2後		2								兼1
	Introduction to International Business and Management	2前		2								兼2
	Global Major Corporations in Japan	2前		2								兼1
International Business and Management Advanced	2後		2								兼1	
Japanese Major Corporations	2後		2								兼1	
日本のものづくり(PBL)	2後		2								兼1	
ビジネス・マネジメント研究ゼミⅠ	3前		2								兼2	
ビジネス・マネジメント研究ゼミⅡ	3後		2								兼2	
ビジネス・マネジメント研究ゼミⅢ	4前		2								兼2	
ビジネス・マネジメント研究ゼミⅣ	4後		2								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キャリア・スタディ科目群	リーダーシップ概論	2前		2								兼1
	キャリアベーシック	1後		2								兼1
	法学の基礎	2前		2								兼1
	貿易論	2後		2								兼1
	経営管理論	2前		2								兼1
	組織論	2後		2								兼1
	国際ビジネス	2後		2								兼1
	簿記会計の仕組み	2前		2								兼1
	企業文化論	2後		2								兼1
	グローバルリーダーシップ	2後		2								兼1
	法と社会	2後		2								兼1
	日本経済と経済政策	2前		2								兼1
	生産管理論	2前		2								兼1
	マーケティング戦略論	2前		2								兼1
	知財マネジメント	2後		2								兼1
	アカウンティング	2前		2								兼1
	CSRマネジメント	2前		2								兼1
	起業と起業文化	2後		2								兼1
	Introduction to International Business and Management	2前		2								兼2
	Global Major Corporations in Japan	2前		2								兼1
International Business and Management Advanced	2後		2								兼1	
Japanese Major Corporations	2後		2								兼1	
日本のものづくり(PBL)	2後		2								兼1	
ビジネス・マネジメント研究ゼミⅠ	3前		2								兼2	
ビジネス・マネジメント研究ゼミⅡ	3後		2								兼2	
ビジネス・マネジメント研究ゼミⅢ	4前		2								兼2	
ビジネス・マネジメント研究ゼミⅣ	4後		2								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キャリア・スタディ科目群	日本国憲法	1後		2								兼1
	政治学	2前		2								兼1
	現代社会の見方	2前		2								兼1
	財政の仕組み	2前		2								兼1
	地域文化研究	2前		2								兼1
	国際政治史	2前		2								兼1
	地域経済	2前		2								兼1
	公共・行政意思決定論	2前		2								兼1
	地方自治	2後		2								兼1
	地方自治体と国際交流	2前		2								兼1
	環境政策	2後		2								兼1
	スポーツ政策	2前		2								兼1
	言語政策	2前		2								兼1
	公共政策 NGO・NPO活動論	2前		2								兼1
	ボランティア活動論	2後		2								兼1
	コミュニティビジネス	2後		2								兼1
	アートマネジメント	2前		2								兼1
	スポーツと国際交流	2後		2								兼1
	多文化間コミュニケーション	2後		2								兼1
	ミュージアムマネジメント(PBL)	2後		2								兼1
スポーツとまちづくり(PBL)	2前		2								兼1	
多文化共生(PBL)	2後		2								兼1	
公共政策研究ゼミⅠ	3前		2								兼2	
公共政策研究ゼミⅡ	3後		2								兼2	
公共政策研究ゼミⅢ	4前		2								兼2	
公共政策研究ゼミⅣ	4後		2								兼2	
小計(147科目)	—	0	294	0	0	0	0	0	0	0	0	兼86

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キャリア・スタディ科目群	日本国憲法	1後		2								兼1
	政治学	2前		2								兼1
	現代社会の見方	2前		2								兼1
	財政の仕組み	2前		2								兼1
	地域文化研究	2前		2								兼1
	国際政治史	2前		2								兼1
	地域経済	2前		2								兼1
	公共・行政意思決定論	2前		2								兼1
	地方自治	2後		2								兼1
	地方自治体と国際交流	2前		2								兼1
	環境政策	2後		2								兼1
	スポーツ政策	2前		2								兼1
	言語政策	2前		2								兼1
	公共政策 NGO・NPO活動論	2前		2								兼1
	ボランティア活動論	2後		2								兼1
	コミュニティビジネス	2後		2								兼1
	アートマネジメント	2前		2								兼1
	スポーツと国際交流	2後		2								兼1
	多文化間コミュニケーション	2後		2								兼1
	ミュージアムマネジメント(PBL)	2後		2								兼1
スポーツとまちづくり(PBL)	2前		2								兼1	
多文化共生(PBL)	2後		2								兼1	
公共政策研究ゼミⅠ	3前		2								兼2	
公共政策研究ゼミⅡ	3後		2								兼2	
公共政策研究ゼミⅢ	4前		2								兼2	
公共政策研究ゼミⅣ	4後		2								兼2	
小計(147科目)	—	0	294	0	0	0	0	0	0	0	0	兼86

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自由選択	情報技術の実践	1後		2								兼1
	健康科学の実践と理論	1前・1後		2								兼2
	テクニカルスポーツⅠ	2前		1								兼2
	テクニカルスポーツⅡ	2後		1								兼2
	テクニカルスポーツⅢ	3前			1							兼2
	テクニカルスポーツⅣ	3後			1							兼2
	テクニカルスポーツⅤ	4前			1							兼2
	テクニカルスポーツⅥ	4後			1							兼2
	シーズンスポーツⅠ	2前		1								兼1
	シーズンスポーツⅡ	2後		1								兼1
	シーズンスポーツⅢ	2前			1							兼1
	シーズンスポーツⅣ	2後			1							兼1
	卒業論文作成入門	2前・2後		2								兼1
	数理解解	2前・2後		2								兼1
	特殊研究Ⅰ(企業からの寄付講座)	2前・3前・4前		2								兼1
	特殊研究Ⅱ(企業のグローバルマインド)	2後・3後・4後		2								兼1
	特殊研究Ⅲ(Japanese Law and Society)	1前・2前・3前・4前		2								兼1
	特殊研究Ⅳ(Japanese Perspectives on Global Peace-Building Initiatives)	1後・2後・3後・4後		2								兼1
	特殊研究Ⅴ(Japan seen through animations)	1前後・2前後・3前後・4前後		2								兼1
	特殊研究Ⅵ(International Negotiation)	1後・2後・3後・4後		2								兼1
特殊研究Ⅶ(Public Diplomacy)	1前後・2前後・3前後・4前後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自由選択	情報技術の実践	1後		2								兼1
	健康科学の実践と理論	1前・1後		2								兼2
	テクニカルスポーツⅠ	2前		1								兼2
	テクニカルスポーツⅡ	2後		1								兼2
	テクニカルスポーツⅢ	3前			1							兼2
	テクニカルスポーツⅣ	3後			1							兼2
	テクニカルスポーツⅤ	4前			1							兼2
	テクニカルスポーツⅥ	4後			1							兼2
	シーズンスポーツⅠ	2前		1								兼1
	シーズンスポーツⅡ	2後		1								兼1
	シーズンスポーツⅢ	2前			1							兼1
	シーズンスポーツⅣ	2後			1							兼1
	卒業論文作成入門	2前・2後		2								兼1
	数理解解	2前・2後		2								兼1
	特殊研究Ⅰ(企業からの寄付講座)	2前・3前・4前		2								兼1
	特殊研究Ⅱ(企業のグローバルマインド)	2後・3後・4後		2								兼1
	特殊研究Ⅲ(Japanese Law and Society) (未開講)	1前・2前・3前・4前		2								兼1
	特殊研究Ⅳ(Japanese Perspectives on Global Peace-Building Initiatives) (未開講)	1後・2後・3後・4後		2								兼1
	特殊研究Ⅴ(Japan seen through animations)	1前後・2前後・3前後・4前後		2								兼1
	特殊研究Ⅵ(International Negotiation) (未開講)	1後・2後・3後・4後		2								兼1
特殊研究Ⅶ(Public Diplomacy)	1前後・2前後・3前後・4前後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
自由選択	Business Administration in Japan	1前		2								兼1	
	Current Japan and Tradition	1前		2								兼1	
	Japan Pop Cultures	1前		2								兼1	
	Japanese Diplomacy and Security	1前		2								兼1	
	Japanese Economy	1前		2								兼1	
	Japanese Geography	1前		2								兼1	
	Japanese History	1前		2								兼1	
	Japanese History and Culture	1前		2								兼1	
	Japanese Philosophy	1後		2								兼1	
	Destination Kyoto	1後		2								兼1	
	Media in Japan	1後		2								兼1	
	Modern Japanese History	1後		2								兼1	
	Religions in Japan	1後		2								兼1	
	小計(34科目)		—	0	52	6	0	0	0	0	0	0	兼19
合計(416科目)			—	62	682	6	3	1	1	0	0	0	兼194
卒業要件及び履修方法													
<p>[導入] 総合科目※ 2 単位 基礎ゼミナール 2 単位 [基幹] 専門語科目 34 単位 第2外国語科目 8 単位 外国語教科科目※ 20 単位 第3外国語科目※ - 単位 [展開] グローバル・スタディ科目 20 単位 キャリア・スタディ科目群 16 単位 [自由選択] 22 単位 合計 124 単位</p>													
<p>・自由選択には、自由選択で開講する授業科目で修得した単位以外に、本学以外の教育施設等における学修の認定単位及び※の科目区分で必要な単位数を超えて修得した単位を算入する。</p> <p>・グローバル・スタディ科目群は、エリアAから少なくとも12単位、エリアBから少なくとも6単位を修得し、さらにエリアAまたはエリアBのいずれか、あるいは両エリアから2単位、合計20単位を修得しなければならない。</p> <p><履修登録単位数の上限> 1年次生：学期毎22単位、年間40単位とする。 2～4年次生：学期毎26単位、年間48単位とし、前学期までのGPA(卒業要件)が2.7を超えている場合は、上限を超えて登録することができる。</p>													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
自由選択	Business Administration in Japan	1前		2								兼1	
	Current Japan and Tradition	1前		2								兼1	
	Japan Pop Cultures	1前		2								兼1	
	Japanese Diplomacy and Security	1前		2								兼1	
	Japanese Economy	1前		2								兼1	
	Japanese Geography	1前		2								兼1	
	Japanese History	1前		2								兼1	
	Japanese History and Culture	1前		2								兼1	
	Japanese Philosophy	1後		2								兼1	
	Destination Kyoto	1後		2								兼1	
	Media in Japan	1後		2								兼1	
	Modern Japanese History	1後		2								兼1	
	Religions in Japan	1後		2								兼1	
	小計(34科目)		—	0	52	6	0	0	0	0	0	0	兼19
合計(416科目)			—	62	682	6	3	1	1	0	0	0	兼203
卒業要件及び履修方法													
<p>[導入] 総合科目※ 2 単位 基礎ゼミナール 2 単位 [基幹] 専門語科目 34 単位 第2外国語科目 8 単位 外国語教科科目※ 20 単位 第3外国語科目※ - 単位 [展開] グローバル・スタディ科目 20 単位 キャリア・スタディ科目群 16 単位 [自由選択] 22 単位 合計 124 単位</p>													
<p>・自由選択には、自由選択で開講する授業科目で修得した単位以外に、本学以外の教育施設等における学修の認定単位及び※の科目区分で必要な単位数を超えて修得した単位を算入する。</p> <p>・グローバル・スタディ科目群は、エリアAから少なくとも12単位、エリアBから少なくとも6単位を修得し、さらにエリアAまたはエリアBのいずれか、あるいは両エリアから2単位、合計20単位を修得しなければならない。</p> <p><履修登録単位数の上限> 1年次生：学期毎22単位、年間40単位とする。 2～4年次生：学期毎26単位、年間48単位とし、前学期までのGPA(卒業要件)が2.7を超えている場合は、上限を超えて登録することができる。</p>													

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1)一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 「総合ロシア語Ⅰ・Ⅱ」の教授は、令和5年度就任のため、令和2年度は教授3を教授2に変更。
- ・ 健康上の理由により、「総合ロシア語Ⅰ・Ⅱ」の教員配置を教授3・准教授1・講師1・兼任1から教授2・准教授1・講師1・兼任1に変更。
- ・ 履修希望者数が少なかったため、「サービス・ホスピタリティ研究ゼミⅠ」の教員配置を兼任2から兼任1に変更。
- ・ 履修希望者数が少なかったため、「サービス・ホスピタリティ研究ゼミⅡ」の教員配置を兼任2から兼任1に変更。

- (注)・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	366 科目	34 科目	416 科目	16 科目 [-]	366 科 [-]	34 科目 [-]	416 科目 [-]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	特殊研究Ⅲ (Japanese Law and Society)	2	1	一般	選択	適切な担当教員が手当てできなかったため。代替措置なし。
2	特殊研究Ⅳ (Japanese Perspectives on Global Peace-Building Initiatives)	2	1	一般	選択	適切な担当教員が手当てできなかったため。代替措置なし。
3	特殊研究Ⅵ (International Negotiation)	2	1	一般	選択	適切な担当教員が手当てできなかったため。代替措置なし。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

適切な担当教員が手当てできなかったため、令和2年度は未開講。同じ科目区分の中で、他の選択科目を多数開講していること及び令和3年度から担当者を変更して開講することから、特に代替措置はとらなかった。また、学生へは毎年度配布する授業科目時間割表にて当該科目の未開講を周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{3}{416} = \boxed{0.72} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

<白紙のページ>

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	9,391㎡ 9,392㎡	18,797㎡	153㎡	28,341㎡ 28,342㎡	借用校地面積 専用：1,569㎡ 共用：8,331㎡ 借用期間 平成29年10月1日～ 令和29年9月30日(30年) 地上権設定登記済 運動場用地：12km、 バス30分		
	運 動 場 用 地	22,560㎡	4,120㎡	5,781㎡	32,461㎡			
	小 計	31,951㎡ 31,952㎡	22,917㎡	5,934㎡	60,802㎡ 60,803㎡	京都外国語短期大学 (5,934㎡、必要面積2,800 ㎡)と共用 収容定員：280名		
	そ の 他	5,901㎡	0㎡	0㎡	5,901㎡	地目変更による登記面積 の変更のため(2)		
	合 計	37,852㎡ 37,853㎡	22,917㎡	5,934㎡	66,703㎡ 66,704㎡			
(2) 校 舎	専 用	34,659㎡ 34,646㎡	448㎡	2,974㎡	38,081㎡ 38,068㎡	京都外国語短期大学 (2,974㎡、必要面積 2,350㎡)と共用 収容定員：280名		
	(34,659㎡) (34,646㎡)	(448㎡)	(2,974㎡)	(38,081㎡) (38,068㎡)	改修工事に伴う専用面 積の変更のため(2)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	21 室	56 室 53 室	0 室	4 室 3 室 (補助職員 2 人)	6 室 (補助職員 5 人)	届出時誤記のため (2)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	外国語学部 ロシア語学科			5 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体 図書 599,158 〔644,194〕 〔311,416〕 (〔616,194〕) 学術雑誌 4,065 〔 4,182 〕 〔1,404〕 (〔4,142〕) 電子ジャーナル 5,035 〔 5,060 〕 〔5,035〕 (〔5,060〕) 視聴覚資料 19,511 〔4,829〕 京都外国語短期 大学と共用
	ロシア語学科	10,339〔7,091〕 (9,191〔6,546〕) (8,899〔6,371〕)	86〔64〕 (70〔56〕)	10〔10〕 (7〔 7 〕)	116 (56)	0 (0)	0 (0)	
	計	10,339〔7,091〕 (9,191〔6,546〕) (8,899〔6,371〕)	86〔64〕 (70〔56〕)	10〔10〕 (7〔 7 〕)	116 (56)	0 (0)	0 (0)	図書購入により増冊(2) 誤記により大学全体を修 正(2)

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体 京都外国語短期大学と 共用		
	3,205 m ²		518 席		約700,000 冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,511m ²		・柔道場 (264m ²) ・剣道場 (283m ²)		・弓道場 (130m ²) ・テニスコート (1,673m ²)				
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費については、電子ジャーナル、データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	360千円	1,080千円	図書購入費	1,500千円	1,000千円	3,000千円	
	共同研究費等	3,000千円	9,000千円	設備購入費	0円	0円	0円		
	学生1人当り納付金	第1年次 1,440千円	第2年次 1,210千円	第3年次 1,210千円	第4年次 1,220千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入：入学検定料収入・証明手数料 補助金収入：国庫補助金収入・地方公共団体補助金 資産運用収入：利息収入・施設利用						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

京都外国語 大 学											備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
外国語学部	4	720	3年次70	3,020		1.15	1.11	-			
英米語学科	4	350	60	1,520	学士(文学)	1.18	1.12	-	昭和34	京都府京都市右京区西院笠目町6番地	
スペイン語学科	4	60	-	240	学士(文学)	1.12	1.01	-	昭和38	同上	
フランス語学科	4	45	-	180	学士(文学)	1.18	1.28	-	昭和41	同上	定員変更(△5)
ドイツ語学科	4	45	-	180	学士(文学)	1.09	1.00	-	昭和42	同上	定員変更(△5)
ブラジルポルトガル語学科	4	45	-	180	学士(文学)	1.12	1.02	-	昭和42	同上	定員変更(△5)
中国語学科	4	60	5	250	学士(文学)	1.17	1.15	-	昭和49	同上	
日本語学科	4	50	5	210	学士(文学)	1.15	1.22	-	平成4	同上	
イタリア語学科	4	45	-	180	学士(文学)	1.10	1.06	-	平成16	同上	定員変更(△5)
国際教養学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	平成22	同上	平成30年学生募集停止
ロシア語学科	4	20	-	80	学士(文学)	1.15	1.15	-	令和2	同上	
国際貢献学部	4	220	3年次30	940		1.10	1.13	-			
グローバルスタディーズ学科	4	100	10	420	学士(国際学)	1.07	1.16	-	平成30	同上	
グローバル観光学科	4	120	20	520	学士(グローバル観光学)	1.13	1.10	-	平成30	同上	
大学全体	4	940	100	3,960	-	-	-	-	-	-	
京都外国語大学大学院											備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
外国語学研究所											
異言語・文化専攻(博士前期課程)	2	40	-	80	修士(言語文化学)	0.96	0.90	-	平成17	京都府京都市右京区西院笠目町6番地	
異言語・文化専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士(言語文化学)	0.77	1.00	-	平成17	同上	
京都外国語短期大学											備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
キャリア英語科	2	140	-	280	短期大学士(英語)	1.07	1.09	-	昭和25	京都府京都市右京区西院笠目町6番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

<白紙のページ>

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
5	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
3	1	1	0	5	0	2	2	1	0	5	0
(2)	(2)	(1)	(0)	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
3	1	1	0	5	0	3	1	1	0	5	0
[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[Δ1]	[-]	[-]	[-]	[-]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
67	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 【該当なし】

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 【該当なし】

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 【該当なし】

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合計			後任補充状況の集計									
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 【該当なし】

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること</p> <p>遵守事項</p>	<p>現状、完成年度に定年となる教員が1名であることは認識しており、今後の教員組織について検討中である。(2)</p> <p>履行中</p>	<p>完成年度には定年退職者に代わる教員を配置する予定。(2)</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

<白紙のページ>

7 その他全般的事項

<外国語学部 ロシア語学科>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD委員会を設置し、実施している（2004年からFD実施準備委員会、2008年からFD委員会を設置）。構成員は、副学長、リエゾンオフィサー他、学長が委嘱する教職員14名で活動を展開している。</p> <p>SD委員会は、2012年に設置し実施している。構成員は、事務局長、事務局次長、人事課長、他事務職員11名及び教員3名の合計17名で活動を展開している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>2019年度FD委員会開催状況 第1回（5月16日）、第2回（6月27日）、第3回（7月18日）、第4回（10月10日）、第5回（1月23日） 委員の構成：教員12名 事務職員2名 計14名</p> <p>2019年度SD委員会開催状況 第1回（5月31日）、第2回（7月30日）、第3回（3月26日） 委員の構成：教員3名、事務職員14名 計17名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会審議事項等</p> <p>第1回 1. 2019年度事業計画について 2. 委員の役割分担について 3. 2019年度夏季FD研修会について 4. 第2期5ヵ年計画アクションプランについて</p> <p>第2回 1. 2019年度夏季FD研修会について 2. 授業アンケート実施時期の見直しについて</p> <p>第3回 1. 2019年度夏季FD研修会について</p> <p>第4回 1. 2019年度夏季FD研修会について 2. 2019年度冬季FD研修会の計画について 3. 春学期授業アンケート結果の報告について</p> <p>第5回 1. 2019年度冬季FD研修会の計画について 2. 秋学期授業アンケート結果の報告について</p>

S D委員会審議事項等

- 第1回 1. 副委員長の委嘱、書記について
2. 2019年度(令和元年度)のSD活動(年間計画)について
3. 夏季専任教職員研修(SD)について
4. 英語講座について
- 第2回 1. 夏季専任教職員研修(SD)の2019年度テーマについて
- 第3回 1. 2020年度夏季専任教職員研修(SD)の日程について
2. 2019年度SD報告書について
3. 2020年度SD委員について

② 実施状況

a 実施内容

FD委員会

- ・2019年度夏季専任教員研修会(FD)
- ・2019年度冬季専任教員研修会(FD)
- ・国際貢献学部FD
- ・外国語学部・短期大学合同FD

SD委員会

- ・夏季専任教職員研修(SD)
- ・学内英語講座
- ・人権講話

b 実施方法

- ・FD委員会
委員長が必要に応じ招集し、開催する。
- ・2019年度夏季専任教員研修会(FD)
内容についてはFD委員会で企画立案し、開催日程については学年暦に記載した上で、教授会等で周知している。専任教員は校務による理由以外は、基本的には全員参加としている。
- ・2019年度冬季専任教員研修会(FD)
FD委員が企画立案し、教授会等で周知の上参加を募った。
- ・国際貢献学部FD
学部長が必要に応じ招集し、開催する。
- ・外国語学部・短期大学合同FD
学部長が必要に応じ招集し、開催する。
- ・SD委員会
委員長が必要に応じ招集し、開催する。
- ・夏季専任教職員研修(SD)
研修内容についてはSD委員会で企画立案し、開催日程については学年歴に記載した上、職員朝礼、職員会議等で周知している。専任職員は校務による理由以外は、全員参加としている。「FD・SDにおける連携協力に関する協定」を結んでいる大学職員も参加している。
- ・学内英語講座
職員全員にメール等で周知し、参加者を募っている。
- ・人権講話
職員朝礼、職員会議等で周知及び、教職員全員にメール配信をしている。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・2019年度夏季専任教員研修会(FD)

開催日: 9月10日

開催場所: 本学4号館4・5階

テーマ: 京都外国語大学・京都外国語短期大学の学生にとっての社会人基礎力とは?

参加者数: 94名

内容:

1. 全体会(13:10~14:40)

基調講演: ㈱リアセック 根本康宏氏

「基礎力テストPROGから見る京都外大生の強みと課題」

質疑応答

2. 分科会(15:20~17:50)

第1分科会: 国際貢献学を学ぶために: Google Appsを用いた授業展開

参加者数: 14名

第2分科会: グローバルシティズンシップ教育の既存の取り組みとの接続可能性

参加者数: 9名

第3分科会: 言語運用能力の学修目標とその評価

参加者数: 19名

第4分科会: 100分授業は「教育の質の向上」につながっているのか—10分の活用法と授業準備の工夫—

参加者数: 15名

第5分科会: 語学教育と「教養教育」: その連立運用に関する課題と具体的取組み

参加者数: 18名

・2019年度冬季専任教員研修会（FD）

開催日：2月20日（13：00～15：00）

開催場所：本学11号館2階会議室

参加者数：37名

内容：

1. 講演 村上正行先生（大阪大学教授）
「授業アンケートについて考える」
2. グループディスカッション

・国際貢献学部FD

開催日：9月11日（16：00～18：00）

開催場所：本学11号館2階ラウンジ

テーマ：カリキュラム改革

内容：グループ討議、質疑応答

・外国語学部・短期大学合同FD

開催日：1月23日（15：30～17：30）

開催場所：11号館2階会議室

登壇者：相川真佐夫（教務部長 キャリア英語科）

大越翼（スペイン語学科）

テーマ：外国語学部のカリキュラム改訂について考える

第一部：15：50～16：35 新カリキュラムの説明（相川先生）

第二部：16：35～16：50 教養系科目についての提言（大越先生）

第三部：16：50～17：30 質疑応答および討論（司会 近藤先生）

・夏季専任教職員研修（SD）

開催日：8月9日（9：20～16：30）

開催場所：学内

参加人数：職員122名 教員11名 協定大学6名

テーマ：「令和の時代をどのように切り抜けるか ～多様化した社会に対応できる教職員力～」

プログラム：

9：20～ 9：30 開会挨拶

9：30～11：30 基調講演「私学をめぐる諸問題と今後教職員に期待すること」

日本私立大学協会 常務理事・事務局長 小出秀文氏

代理 日本私立大学協会 事務局次長 岡田 誠氏

13：30～14：40 講演 「いまから教職員が取り組んでいくべきこと」

広島経済大学 常務理事 松井寿真氏

14：50～15：50 グループワーク

16：00～16：30 研修まとめ

・学内英語研修（中級以上）

開催日：11月20日・22日・12月4日・11日・18日 18：00～19：00

開催場所：学内

参加人数：9名

講師：Jeremy White先生

Day 1. Emailing in English

In this lesson students will learn the appropriate way of emailing in English.

Day 2. Translating from Japanese to English (posters)

In this lesson students will learn what to do and not to do when translating the same content for both an English and Japanese audience.

Day 3. English discussions/meetings

In this lesson students will learn the best ways to have a discussion/meeting with staff and students.

Day 4. Business trip English

In this lesson students will learn about the most effective ways to communicate in English during a business trip to an English speaking country.

Day 5. Using translation devices

In this lesson students will learn about the most effective way to use translation devices and software to improve their English accuracy.

・学内英語研修（入門・初級）

開催日：11月22日・29日・12月6日・13日・20日 18:00～19:00

開催場所：学内

参加人数：7名

講師：泉 宏朗先生

第1回：電話を受ける 練習1～3、電話対応出来ない理由

第2回：電話を受ける 練習4、その他の表現

第3回：窓口対応（学生）練習1～3

第4回：窓口対応（教員）補講日のお願ひ、教室変更のお願ひ

第5回：場所案内、連れていく、地図を使う、キーフレーズ

・人権講話

開催日：2月17日

開催場所：学内

参加者数：教職員95名

内容：「あなたがパワハラ行為者とならないために ～パワハラ法令化～」

講師：公益社団法人21世紀職業財団 深海慶子氏

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

夏季専任教員研修会（FD）及び冬季専任教員研修会（FD）における組織的・全学的FD活動は、教養教育も含めた幅広い分野で授業改善に活かすよう取り組んでいる。

具体的な授業改善については個々の教員が「授業アンケート」の結果を踏まえ、学生の授業に対する満足度を上げるための改善を心掛けていることはいうまでもなく、学科別や科目担当者別で協議する機会を設け、教員間で協力しながら授業改善に取り組んでいる。

また、教員評価制度により、学部長が行う学科長面談においても授業改善の取組みについて確認をしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業時間中にスマートフォンを用いて、2回実施した。

2019年7月8日～7月13日（全科目）

2020年1月6日～1月11日（全科目）

b 教員や学生への公開状況、方法等

Webによる全学生への公開（過去3年間分閲覧可能）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

【該当なし】

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的どおりに履行すべく、順調にその取り組みを行っている。なお、自己点検・評価に関する学内最高決定機関は「自己点検・評価運営委員会」であり、その構成員は次のとおりである。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) リエゾンオフィサー
- (4) 大学院研究科長
- (5) 学部長
- (6) 総合企画室長
- (7) FD委員会委員長
- (8) シラバス点検実施委員会委員長
- (9) 法人部長
- (10) 事務局長
- (11) その他、運営委員会が指名した若干名の専任教育職員及び事務職員

また、単に自己点検・評価の実施で終わることなく着実に改善活動へと進展できるよう、現在、内部質保証並びに学校教育法・私立学校法等の法改正に伴う対応について検討を重ねている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- (1) 平成28年度 大学機関別認証評価 自己点検評価書…平成28年度公表
- (2) 平成28年度 大学機関別認証評価 評価報告書（高等教育評価機構からの評価結果）…平成28年度公表
- (3) FACT BOOK（大学の基礎データ集）…毎年度公表
- (4) 各種学生アンケート…実施後、すみやかに公表
 - ・授業アンケート
 - ・新入生アンケート
 - ・在学生アンケート
 - ・卒業時アンケート

b 公表方法

- (1) 平成28年度 大学機関別認証評価 自己点検評価書…本学ホームページ
- (2) 平成28年度 大学機関別認証評価 評価報告書（高等教育評価機構からの評価結果）…本学ホームページ
- (3) FACT BOOK（大学の基礎データ集）…本学ホームページ及び冊子発行
- (4) 各種学生アンケート…本学ホームページ
 - ・授業アンケート
 - ・新入生アンケート
 - ・在学生アンケート
 - ・卒業時アンケート

③ 認証評価を受ける計画

平成28年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、適合の評価結果を得た。次回は、令和5年度までに公益財団法人日本高等教育評価機構の認証評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。